

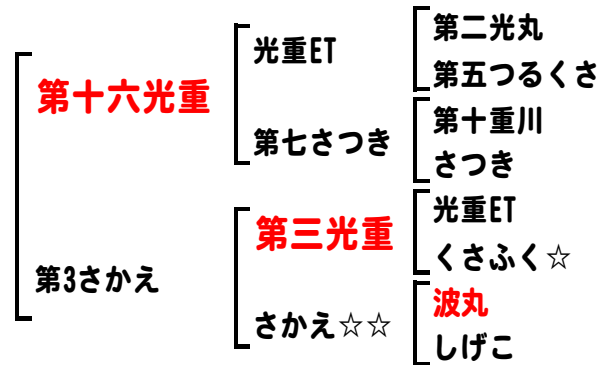
熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2011

みつはるしげ

褐毛和種種雄牛「光晴重」の選抜



問 研究のねらいは？

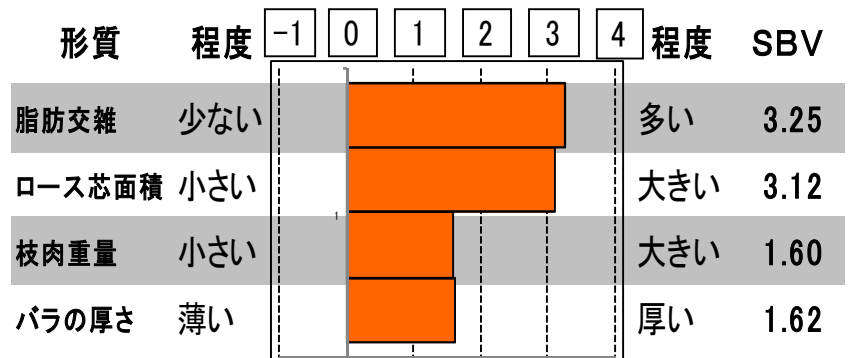
答 熊本県で昔から多く飼われている「肥後のあか牛」と呼ばれる和牛・褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 第十六光重の後継牛として、脂肪交雑はもちろん、枝肉重量、ロース芯面積でも大いに期待できる質量兼備の種雄牛です。



性別	去勢
枝重	501kg
ロース	67cm ²
バラ厚	7.5cm
BMSNo.	5
等級	A-4



標準化育種価 (SBV) とは？

遺伝的な個体の特徴を明確にするため育種価 (遺伝的能力) を標準化した数値

畜産研究所 生産基礎技術研究室